

キャンプシーズンを前に清掃

松浦ロータリークラブ

松浦ロータリークラブ(祖川章会長)が6月20日、志佐町の柚木川内キャンプ場の清掃を行いました。

同会では、毎年不老山総合公園花壇の花植えや市内小中学校支援学級の生徒との体験旅行などを実施。今回は、7月1日のキャンプ場開きを前に、快適に施設を利用してもらおうと清掃を計画しました。

この日は同会会員など45人が参加し、キャンプ場の清掃と周辺道路の環境美化を行いました。



海難救助に感謝状

桑下康博さんが男性救助

桑下康博さん(星鹿・下田、40)に6月22日、伊万里海上保安署から海難救助をしたとして感謝状が贈られました。

6月14日の夜、松浦港でボートでの釣りを終えた男性2人が、いかりを引き揚げようとしたところ、いかりが海底に引っ掛かり、バランスを崩して転覆。1人が自力で岸まで泳ぎ110番通報しました。松浦署から依頼を受けた桑下さんは、自身の漁船で現場に向かい、ボートにしがみついている男性

を発見し、桑下さんの漁船に乗り込んだ同署員2人と男性を助けました。感謝状を受け取った桑下さんは「男性は、救命胴衣を着けていたので良かった。救命胴衣着用の大切さを改めて感じました」と話しました。



まちの話題

Matsuura City Topics

W杯公式球を小学校にプレゼント

松浦郵便局がサッカーボール寄贈

松浦郵便局(黒川廣治局長)が6月17日、志佐小学校にサッカー・ワールドカップ南アフリカ大会公式球(小学生用の4号球)を贈りました。

全国各地の郵便局とゆうちょ銀行が地域貢献の一環として、将来を担う子どもたちの教育に役立ててもらおうと、店舗で展示した公式球を地元の小学校に寄贈しています。

この日は、黒川局長が志佐小を訪れ、島田茂明校長に同ボールを手渡しました。黒川局長は「このサッカーボールを見て、子どもたちが夢を持ってくれたらうれしいですね」と話していました。



グラウンドゴルフで熱戦

市老連グラウンドゴルフ大会

第4回松浦市老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会（同会主催、松瀬輝治会長）が6月23日、市民運動公園で行われました。

グラウンドゴルフを通じて会員相互の親ほくと健康増進を図ることを目的に毎年開催。この日参加した約300人は、日ごろの練習の成果を発揮し、熱戦を繰り広げました。上位の結果は、次の通りです（敬称略）。

【男子】①荒岩嘉助（御厨） ②白井順吾（今福） ③眞島鎮馬（親和） ④谷本正人（里） ⑤里森 壽（御厨）

【女子】①澁谷暁子（福島明寿会） ②池田征子（今福） ③北川マヌエ（鷹島原） ④高田愛子（親和） ⑤吉本智恵（里クラブ）



地域に貢献する近江鍛工

近江鍛工長崎工場が清掃作業

御厨町の近江鍛工長崎工場（松澤司郎工場長）が6月24日、工場周辺道路の清掃作業を行いました。

同工場は平成6年に設立し、新幹線のベアリングや産業機械などを製造しています。同工場では、環境月間の取り組みとして、地元が行う清掃作業を前に、地域貢献を目的に毎年実施しているものです。

この日は、社員約20人が刈払機や竹ぼうきを使って、約2時間かけて沿道の草を刈ったり、落ち葉やごみを片付けたりしました。



全九州高等学校なぎなた競技大会

松浦高校なぎなた部

第16回全九州高等学校なぎなた競技大会が6月20日、文化会館で開催されました。

同大会には、九州各県から24校、約90名の選手が出場。演技競技、個人試合、団体試合が行われ、熱戦が繰り広げられました。

松浦高校なぎなた部は、演技競技と個人試合に出場しましたが、惜しくも初戦・予選リーグで敗退しました。

同部は、8月3日から5日まで行われる沖縄インターハイに向け練習に励んでいます。



苗木配布、市民に大好評

九州電力松浦発電所・電源開発松浦火力発電所

九州電力松浦発電所（中西章夫所長）と電源開発松浦火力発電所（埋田悦造所長）が6月22日、中央公園で苗木を配布しました。

環境月間の取り組みとして行われたもので、配られた苗木は平戸ツツジやベンジャミン、リーガルベゴニアなど8種類、合計400鉢。よかところ大使の小船裕紀子さんや法被姿の所員など約20人が、配布開始を待っていた多くの市民や通りかかった買い物客などに配布しました。

